

## 第4回部長会議要約

日時	平成26年8月6日(水) 午前10時～
場所	市役所別館3階会議室
出席者	中野市長、吉田副市長、馬場副市長、吉原教育長、塩野上下水道事業管理者、各部長
欠席者	行政委員会事務局長、議会事務局長
案件	1 市民部 ・権限移譲に伴うパスポート(旅券)申請業務の開始について 2 政策推進部 ・第4次柏原市総合計画の実施計画について 3 都市整備部(追加案件) ・柏原市自動車駐車場の条例改正について
その他	1 政策推進部 2 健康福祉部 3 市長から

### 【中野市長】

- ・ 昨日も群馬県の方で39度、実質40度を超えているというような本当に気象の異常が目に見えて感じられるようになってきて、九州四国では風水害が出ております。これは、今週末の台風、近畿地方の方にも進路予想が出ておりますので、十分な対策とその警戒をお願いしたいと思いますし、おそらくこの状態で行くと今年は9月あるいは10月かかりまで台風災害がかなり予想されますので、各担当課十分な警戒をお願いしたいと思います。
- ・ それと今月の末にもさらに幹部職員に研修を重ねていただくという機会を設けておりますが、下半期、後半から来年度の予算に向けて今年はスタートを早く切りたいと思っておりますし、継続事業、新規事業、それから廃止事業等の検討時間を今年十分に取って、来年度の予算はより慎重に、あるいはより対効果の出るような形を求めていきたいと考えております。各担当、心の準備をお願いしたいと思います。それと、今日は目先の案件を、連絡を密にしながらこなしていただけるよう、本日の分につきましてはよろしく申し上げます。

## 案件1 市民部

### ○ 権限移譲に伴うパスポート（旅券）申請業務の開始について

#### 【市民部長】

- ・ 資料は11日の日からホームページに掲載する内容である。
- ・ 大阪府の阿倍野分室のパスポートセンターがこの9月末をもって終了するという事で、各市町村にパスポートの発給事務を大阪府から移譲されたということで、柏原市においても10月から実施するもの。
- ・ 基本的には従来みなさんがパスポートを申請する内容とほぼ同じであるが、取扱時間や新たに項目が増えた部分があるので、その点も含めて説明する。
- ・ 取扱時間については、申請は平日の月曜日から金曜日まで午前9時から午後4時30分まで、受け取りは同じく平日の午前9時から5時15分まで。なぜ時間が違うかというと、申請には時間がかかるので、4時30分に終了させていただいている。土・日・祝日・年末年始については除く。
- ・ 申請と受け取りの窓口については、市役所1階の市民課パスポート窓口、「4番」という窓口で開設をしていく。なお、出張所及び連絡所の窓口では手続きができないので、その点にご注意いただきたい。
- ・ 申請できる方は、基本的に日本国籍を有し、柏原市に在住している方。また、日本国籍を有し、他市に住民登録をしている方で、単身赴任や通学などのために柏原市に居住の事実があり、一定の条件を満たしている方ということで、これが新たにできた分で、それ以外、通勤、通学で手続きが困難な方については大阪府のパスポートセンターで申請をしていただくことになる。時間外や日曜日に受け取りを希望する場合も大阪府の方で手続きをしていただくことになる。
- ・ 柏原市でできる申請については、「新規申請」、「切替新規申請」、「訂正新規申請」、「記載事項変更申請」、「査証欄増補申請」、「紛失等の届出」となる。
- ・ 柏原市でできない申請は、外務省と協議を行う特殊な場合や業務上の理由により旅券を早期に発給する必要がある場合、学校など修学旅行といった団体申請、震災の特例による場合、犯罪などに関係する場合などである。
- ・ 申請に必要な書類は、大阪府のパスポートセンターのホームページにリンクしているので、そこでどのような書類が必要かということも分かるようになっている。
- ・ 市役所の地下に証明写真のボックスを設置したので、パスポート写真に利用していただきたいと考えている。
- ・ 新たな内容として、居所申請のための必要書類については、柏原市に住民票はないが事実上柏原市に住んでいるという方で、単身赴任や学生等についてホームページからも取得できる居所証明書を記入していただき、大家さんの証明や会社の証明をいただければ可能となる。ただし、実際に登録している市町村の住民票は必要。
- ・ 代理提出について、申請ではできるが受取ではできない。

- ・ 申請から受け取りまでの所要日数は、柏原市のパスポート窓口では「新規」、「切り替え新規」、「記載事項変更」については10日間、「増補」については6日間、いずれも土日を除いて日数がかかる。ちなみに大阪府のパスポートセンターで行う場合は6日間と2日間。
- ・ 受け取りについて、必要な書類は申請時に渡す「一般旅券引換書」と、手数料として大阪府の証紙と収入印紙。証紙については市役所で取り扱っていないので、柏原警察やりそな銀行などで購入していただくことになる。収入印紙については市役所の労働組合事務所や郵便局で販売している。手数料については、資料のとおり。
- ・ 10月1日から業務を実施するので、ご協力をお願いします。

#### 【総務部長】

- ・ 大阪府の証紙は市役所内で購入できないとのことで、柏原警察やりそな銀行柏原支店に行くということになれば、当然説明を十分しておかないと窓口でトラブルになりかねないと思うが、その辺の対応はどうされるのか。

#### 【市民部長】

- ・ 申請の際に渡す「一般旅券引換書」に証紙を貼っていただくことになるので、申請の際にその点を十分説明させていただいて、受け取りの際にあらかじめ買って貼ってきていただき受け取りに来ていただくという説明を徹底していく。

#### 【病院事務局長】

- ・ パスポートを大阪府のパスポートセンターに申請する場合には住民票とか戸籍を添付する必要があると思うが、柏原市に住民票及び本籍がある人が来られた時の確認は、やはり先に住民票や戸籍謄本を取ってから4番の窓口に行くのか、その流れはどうなるのか。

#### 【市民部長】

- ・ 権限移譲ということで、市は中継地点となるので、そういった書類は大阪府に送るので事前にとっていただくことを考えているし、申請の時に用意されていない場合は隣の窓口で取得していただくことを考えている。

#### 【病院事務局長】

- ・ もう一点、申請と受け取りという表記をしているが、例えば柏原市で申請して大阪府のパスポートセンターで受け取るとか、逆に日程の都合で大阪府のパスポートセンターに申請して柏原市で受け取るといったことは可能か。また、大阪府のパスポートセンタ

ーは何時まで開いているのか。

**【市民部長】**

- ・ 申請と受け取りを違う場所でということについては、あくまでも申請場所で受け取るという条件になっている。(違う場所ではできない)
- ・ 大阪府のパスポートセンターの開設時間は午後7時まで、日曜日が午後5時までとなっている。

**【中野市長】**

- ・ 大阪府の証紙は扱えないのか。

**【市民部長】**

- ・ 色々協議したが、条件として購入の際に300万円から500万円の証紙購入が必要となることや売りさばきを行う部署の検討も含めて関係部署に相談してきたが、当面は柏原警察等を利用していただき、どのような形が良いか今後研究していき最終的には市役所で対応していくことも考えていかざるを得ないと思っている。

**案件2 政策推進部**

○ 第4次柏原市総合計画の実施計画について

**【政策推進部長】**

- ・ 第4次総合計画の実施計画の進行管理を実施していこうということで、柏原市第4次総合計画の基本構想にある柏原市の将来像「市民が生きいきとしにぎわいにあふれているまち柏原」の実現に向けて、平成26年度から実施計画の進行管理をしていきたいと考えている。
- ・ 第4次総合計画は平成23年度から32年度までの10年計画で、基本計画は前期5年、後期5年ということで構成され、平成27年度は前期計画の最終年度となっている。
- ・ 少子高齢化、老老介護、消滅可能都市等の問題が取りざたされていることもあり、平成28年度からの後期計画に向けて、一度ここで進行管理、状況の把握をしたい。
- ・ 実施計画の管理については、お手元の資料の中の行程表に基づき作業にかかっていくが、例年の実施計画が主に新規事業に特化したものであるが、今回についてはそれぞれの事業についてあらかじめ企画調整課で資料を整えてから配布させていただく形になる。また、作業に当たっては企画調整課から丁寧に説明をしながら進めていきたいと考えているので、ご理解、ご協力をお願いしたい。

### 案件3 都市整備部（追加案件）

#### ○ 柏原市自動車駐車場の条例改正について

##### 【都市整備部長】

- ・ 柏原駅東自動車駐車場の改修工事に伴い、機械式立体駐車場54台のものを平面式駐車場14台のものに変更する。この駐車場は昨今のニーズに合わない機械式で車高1.5m以上の車は止められない。そのようなニーズに合わないこと、そして平面式駐車場にすることによって人件費、機械メンテナンス費用が削減できると考えている。
- ・ 料金面については、柏原駅周辺の民間駐車場の料金調査を行った。24時間最大料金が周辺駐車場に比べて高すぎないように設定することで、利用者を増やして回転率を上げ、収益を増やし、違法駐車台数を減らすことができると考えている。
- ・ 今回の料金設定においては、年間収支予想で健全な経営計画を設定している。
- ・ 条例の内容について、まず柏原駅東駐車場は、仕様が現在は機械式立体駐車場で3階建4層型54台置けるが、改正後は自走式の平面駐車場14台に変わる。開場時間については現行朝6時30分から夜10時30分までであるが、改正後は全日いつでも乗り入れできる形に変更したいと考えている。料金は現行30分100円が改正後もそのまま現行通り。24時間の最大料金は現行条例1日最大1,000円プラス6時30分から10時30分までしか開場しておらず、それ以降出場できないのでその時は泊まりとして800円かかるが、改正後は全日で1日最大800円という形にする。月極め駐車料金は現在1月10,000円であるが、これについては今回廃止させていただきたい。これは今まで54台止められる状況だったが、14台しか止められなくなるため、本来この駐車場は違法駐車等を防ぐためのものなので月極めで貸すことが主旨から外れていることと、収容台数が少なくなることによるものである。
- ・ 柏原駅西口駐車場は、現行条例、自走式の平面駐車場であるが、これは現行通り。収容台数も37台で現行通り。開場時間も全日で現行通り。料金については改正して現在30分無料以降20分100円を30分無料以降30分100円に改正させていただく。24時間最大料金については、1,200円を1,000円に変更させていただきたい。月極め駐車料金については12,000円の現行通りとさせていただきたい。
- ・ 料金の設定に当たっては、柏原駅周辺にある駐車場の料金等調査をさせていただいたものと、今までの収支について今回の改正によりどのようになるか勘案させていただき、この料金と定めさせていただいたものである。
- ・ これについては、第3回9月の議会に上程させていただきたいと考えている。

##### 【財務部長】

- ・ 調査されてということだが、西口と東口で料金が若干違うが、違いを設けられた理由を教えていただきたい。それから、駅東は現在54台ということだが、かなり機械や人

にお金がかかるということで平面式に変えるということだが、現在の利用率について教えていただきたい。

**【都市整備部長】**

- ・ まず、西口と東口の料金の違いであるが、調査をした中で東側と西側の現行やっておられる駐車場、東側で市を含めて7か所、西側には6か所、それぞれ料金を調べてみるとやはり西側の方が高いバランスになっている。それと、今までの利用状況等を考慮して収支均衡が合うように料金を定めた。利用率については、東側は1日平均滞在6台程度、機械式で入れにくかったことと制限もあったので、今回は10台ぐらいを想定している。

**【財務部長】**

- ・ 今現在の機械式が6台で平面式になって10台くらい見込んでいた場合、採算的にはこれで採算が取れるということか。

**【都市整備部長】**

- ・ 試算をしているのは1日10台を想定しており、今までの払っていただいている料金の駐車時間は平均2.8時間、それを単価に合わせると550円位、それを500円として月間300台で月額15万円、年間にすると180万円と想定している。それに対し、諸費用は約175万円プラス約5万円の形で想定している。

**【財務部長】**

- ・ 採算面を考えて決定しているということだが、駅の駐車場を作る時に補助金が出ていると思うが、これは駐車場を解体してもその後も駐車場として使うのであればいいということか。

**【都市整備部長】**

- ・ それについては近畿地方整備局にも確認をしており、見解としては、駐車場として使用していればそれは問題ないということ。

**【水道事業管理者】**

- ・ 月極め駐車料金廃止ということで、先ほどの説明ではもともと違法駐車対策だから廃止するとのことだが、当初はそういうことではなかったのではないか。

**【都市整備部長】**

- ・ 基本的には駅前周辺に買い物に来られたりした時に置くところがなければいけない、

違法駐車をなくすために作った駐車場である。

**【水道事業管理者】**

- ・ ここ（東口）の駐車場の管理体制は、今シルバー人材センターでシャッターもあって管理されていると思うが、それは変更ないのか。

**【都市整備部長】**

- ・ 東口の駐車場は駐輪場に併設しており、駐輪場の方は今まで通り6時30分から10時30分まで。駐車場の方は、今後24時間営業となるので、出入口のゲートについては撤去となる。

**【水道事業管理者】**

- ・ 自転車は従来通りシャッターで管理して、車はゲートを設けるのか。

**【都市整備部長】**

- ・ 駐輪場は入口にゲートがあり午後10時30分に閉まるが、駐車場は別の入り口になっており、今度のご存知のとおり車を入れると地面に設置してあるロック板が上がるロック式なので、出入口にゲートはない。

**【水道事業管理者】**

- ・ そこにはシルバー人材センター等の人は付かないということか。

**【都市整備部長】**

- ・ 人件費削減のために今回このようにしているので、常時つくことはない。

**【総務部長】**

- ・ この改正はいつからか。

**【都市整備部長】**

- ・ 予定では12月1日オープンする。

**【総務部長】**

- ・ 12月1日オープンということは、先ほどの収支の計画の話にもあったとおり今現在よりも台数を増やすということになると思うが、当時と比べて今かなり民間のコインパーキングの数が増えており、なおかつ新たに市としてやるわけだから、その辺のPRはどのように考えているのか。

**【都市整備部長】**

- ・ PRについては市のホームページ、広報等周知徹底していきたいと考えている。

**【政策推進部長】**

- ・ 経費の面で収支のバランスを図るということだが、先ほど180万円くらいと言っていたがこれは東西経費的にはどのくらいかかるのか。

**【都市整備部長】**

- ・ 東については先ほどのとおり年間180万円の経費を見込んでいる。西の方について実績は大体年間500万円位の経費がかかっている。

**【政策推進部長】**

- ・ 内訳は保守か。

**【都市整備部長】**

- ・ 機械的保守と、西側については前の入口の所ついているガードマンの経費、保守、機械に入った集金をする業務の費用業務の費用。

**【経済環境部長】**

- ・ 料金の設定について、収支均衡という言葉で説明されたが、この料金設定には駐車場法に民間の経営を圧迫してはならないという文言が入っていると思うが、この東側の料金設定について周辺で1000円ぐらいの駐車場が民間であった場合、それを下回って作ることは民間の経営を圧迫するためあまり良くないということで大阪府に相談に行ったと思うが、調査した結果800円は民間より安いのか。

**【都市整備部長】**

- ・ 東側で一番高いところは1,200円、それから1,000円があり、市はその次の800円に設定させていただく。料金を改定するにあたっては弁護士に相談しており、個人の方が経営する駐車場に対しては確かに道路法や駐車場法に民業圧迫しないようにという項目があるが、調査した結果、今はやりのリパークといった全国ネットでやっている業者なので、そういうところはここで赤字になっても他で取れるだろうということで、それは一応民業圧迫にならないということを聞いている。

**【経済環境部長】**

- ・ もう1点、この「月極め」という部分、この方法では一個人の利益に当たるということで、確か定期云々というかたちで、この定期云々というのは駐車スペースが空いていたら置いていい、満車であれば置けないというようなことを指し、条例に書いていると



思うが、西側は今「月極め」という方法を使っているのか。

**【都市整備部長】**

- ・ 申し訳ないですが、資料のミスプリントで、「定期使用」という形になっている。それと、西側の駐車場37台について先ほど言われたように、空いているところどこでも置いていただくということで駐車場所を特定しているわけではない。それと満車の時は置けないし、いるようになったときには出してください、切りますよという運営をしている。

案件4 その他

○ 政策推進部所管報告事項について

**【政策推進部長】**

- ・ この度本市においては市長、市議会議長、早川商工会長、私の4名で構成された「柏原市友好訪伊団」、平成26年7月28日から8月2日までの日程で柏原市の友好都市であるグロッセート市及びグロッセート県へ派遣をした。今回の訪問は非常にタイトなスケジュールで、グロッセート県の知事、グロッセート市議会の議長はじめ商工会等各界関係者との懇談、交流を行ってきた。本市は友好都市提携から15年の節目の年であり、今後の交流のあり方、特に教育、スポーツ、文化、産業の面において更なる交流を進めていくことを確認した。今回の訪問では市民間の文化交流に加え、サッカー、野球のほか新たに柔道、合気道といった日本の武道関係者との交流、また中学校の校長等学校関係者との懇談を行い、中学生のインターネットを使った交流等についても話し合いを行った。また、当市は観光産業を主とした産業としているので、まちの魅力づくりや魅力発信の手法についても大きなヒントを得られた。今後引き続き両地域の友好交流を続けていくことで、両地域の活性化と両国の平和に貢献していくことを確認した。
- ・ 続いて、まちづくり応援寄附金、ふるさと納税の状況について報告する。6月から記念品を寄附者に配布する制度、協力企業も募集し、これまでは年間数件の寄附であったが、この2カ月で20件を超えるということで、非常に好評をいただいている。協力企業についても現在のところはカタシモワインフードさん、岡村製油さん、浅田農園さん、いたに萬幸堂さんであるが、これについても増やすということで、担当課で努力している。
- ・ 続いて、広報かしわらの増刊号について今発行の手続きをしている。これは、市民の皆様へ広報かしわら9月号と同時に配布をさせていただく。広報かしわらで掲載しきれない情報、また市民の皆様へ興味を持っていただけるような特集記事を掲載した増刊号で、全面カラーでA4サイズ、全16ページということで、柏原の美しい風景、今回は夏祭りに焦点を合わさせていただき、特集記事としては初めての人間ドックということ

で、市立柏原病院、リビエールの名誉館長にご協力いただき記事を作った。また、サンヒル柏原で販売している「かしわらもん」について工場に実際に出向き記事を掲載している。

- ・ るるぶのフリーペーパー、八尾市と柏原市ということでフルカラー16ページで、中身については「見る・食べる・遊ぶ」をテーマとして市外向けに発信していく。大阪市内のJTB主要店舗やホテル、公共施設、駅等に配布することを中心に考えている。柏原の見どころ満載で名店等も掲載している。歴史的には大阪夏の陣ゆかりの玉手山公園、高井田横穴公園、業平道といった所にスポットを当てて掲載している。完成したら各部長に配布する予定である。

#### ○ 子育てに関する意見募集結果及び民営化施設の選定状況について

##### 【健康福祉部長】

- ・ 前回の第3回部長会議で公立施設の民営化等による幼保一元化ガイドラインの案の説明をさせていただいたが、これについての意見募集、パブリックコメントを7月1日から22日まで行った。ガイドライン案の大まかな内容は、市立幼稚園で適正規模が確保できない園については廃統合や市立保育所と合わせてこども園への移行、また市立保育所については民営化し、さらにこども園へ移行するというもの。
- ・ パブリックコメントの結果、11人の意見が提出された。電子メールで1件、直接提出が10件。住居区分で見ると国分地区が全て11件であった。
- ・ 主な意見内容は、「公立幼稚園を残してほしい」、「幼保一体型になっても幼稚園機能を残してほしい」、「民営化はしないでほしい」というものであった。近日中にコメントに対する市の考え方を付けて、市のホームページにこの結果を公表したいと考えている。
- ・ 公立施設の民営化等による幼保一元化ガイドライン案については、これを正式にガイドラインとして、今後民営化、幼保一元化をガイドラインに沿って進めていく。
- ・ まず保育所の民営化を進めていきたいと考えており、このための条例案を9月議会に提案し、保護者への意見交換会は今月中に2回実施する。
- ・ 今後市民の皆様、保護者、議会への丁寧な説明をしていくつもりであるので、各部長にもご協力をお願いします。

#### ○ 市長指示事項の取扱について

##### 【中野市長】

- ・ 平素の色々な指示を出させていただいて、それに対する説明をいただいているが、たちぎれになる部分、説明まで及ばない部分等含めて口から出た指示を全て把握するためシステム化したいと思うので、一定様式で文書あるいはメール等を通してこれをするようにという指示を出させていただく。そして、期限も切っていく。そのシステムを政策推進部から出していただく。これは指示であるからしてもらう。

- もうひとつ、市長としてこの方法をやりたいということで、意見を担当課に伺いたい。「この事業をやりたい」ということに対し、「これは可能である。」とか「これはこういった事情で非常に可能性は低いです、難しいです、困難です。」ということ。そしてただそのやり取りで終わるのではなく、困難な部分は例えばどう克服したら出来るのか、全く克服できない問題なのか、ということを確認していきたいと思う。
- 指示させていただくこと、これは期限を切って「この指示は終わりました」というやり取り。もう一つはこれについての意見を担当課に聞く。これはたとえ部長に話がきても担当課に回してください。部長の段階であがってくるようではだめであり、担当課をフルに使っていただきたい。それによって、事業への取組、担当部署への取組という、評価にも繋がってくる問題と考えているので、そういった意味で各部局のメンバーを鍛える形にもツールとしても使っていただきたい。
- もう一点、各部局から広報に対して「これを必ず広報してほしい」と。通常であればホームページに掲載しておけば市民向けには説明できたという形になり、議会に対しても説明すれば説明できたという形で終わっているが、出先での10人、20人の集まりの中で、例えば子供の医療費について10月から6年生までほぼ無料化というのをご存じか聞いても全然浸透していない。肺炎球菌の予防接種の補助も思っていた以上に浸透していない。ですから、市役所で我々が決めて当然ホームページなり広報で言えば、市民は知っているものと思っているところが一つの大間違いである。あつかましくも、どんどん広報に順番を競うように業務について載せてほしいと、広報が交通整理に困るぐらいあげていただきたい。それは部局の意気込みの表れでもあるので、その点も周知徹底お願いしたい。

【司会者から他に案件等がないか確認後、会議終了】